

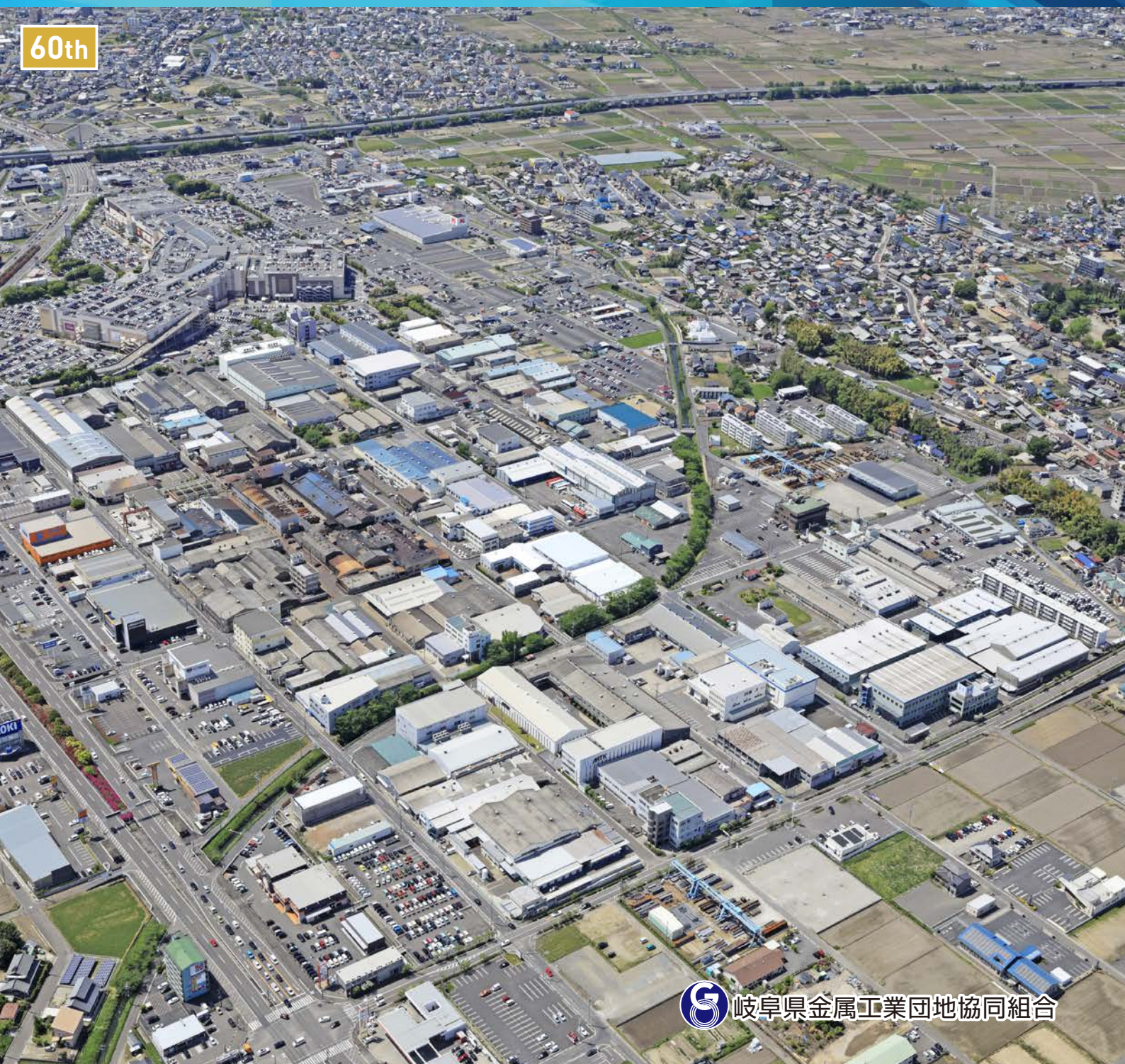
No.623

2026.8.17

KINZOKU DANCHI NEWS Since1974

金属団地ニュース

60th



岐阜県金属工業団地協同組合



7月度月例会開催

7月21日(火) 組合研修センターにて月例会を開催し、公益財団法人岐阜県産業経済振興センターモノづくりコーディネーター 山田義治様をお招きして『現場力を仕組みに変え、企業の成長を支えるモノづくり改革支援』について講演をしていただきました。

講演では、現場で培われた技術や知識を個人の経験だけに留めるのではなく、組織内で共有し、次世代へつなげていくことの重要性について紹介されました。個々の能力を高めるだけでなく、互いに学び合い、成長できる環境を整えることで、個人の力が組織全体の力となり、継続的な現場力の向上につながります。

また、人材育成においては、仕事の内容を細分化し、成果につながる行動例や必要な知識・能力を整理、体系化することが重要であり、厚生労働省の職業能力評価基準(右QRコード)などを活用した育成の仕組みづくりについても紹介されました。



人口減少が進む中、設備や技術だけではなく、それらを活かす人材こそが企業の大きな財産となります。人が成長し、その力を組織として発揮できる仕組みを整えることが、企業の持続的な発展を支える重要な取り組みとなります。

令和8年度 金属団地安全大会



安全衛生管理者協議会

会長 高井 史樹

2026年7月の第1週は、全国安全週間でした。

金属工業団地協同組合においては、各社の安全衛生の環境と意識向上のために、労働基準監督官にご同行いただいて「相互安全パトロール」、およびコンサルタントによる「安全講演」を実施しました。

まずもって、本活動にご協力を賜りました、岐阜労働基準監督署・菅井主任監督官、深川労働安全コンサルタントには厚く御礼申し上げます。

安全パトロールは金属団地の各社が12の班に分かれ、それぞれ班内で相互に巡回します。一つの班は3～4社で構成されます。構成をコンパクトにすることで、より実務的な相互安全意識の高揚を図っています。

菅井主任監督官におかれましては、第一委員会第三班に所属する四社((株)亀山鉄工所、三島精器(株)、MTK(株)、(株)IAC：ご視察順)のパトロールにご参加いただきました。

各現場の加工内容は、板金製作、建築用下地鋼材製作、大型切削と多岐にわたり、班員同士も、普段は自社では見ることがない加工機や現場づくりのコンセプトに触れ、大いに勉強となりました。

このように自社業界とは異なる視点が養われることで、結果的に安全・衛生が高まることが、まさに交流パトロールの成果かと思います。

パトロール中には、監督官より、5Sが実践されているスッキリとした現場が安全衛生に直結することが強調されました。現場が片付いていれば余計なものに「つまづいたり」「ひっかかったり」する

ことがなくなり、安全性が向上します。スッキリした製造現場やジグは「余計な判断がなくなる」ことで、間違い防止＝品質向上に繋がります。片付いた職場では、「余計な動作がなくなる」ことで生産性向上ともなり、いいところづくめです。



今回のスローガンは「多様な人材 全員参加 みんなで育てる安全職場」です。

外国人労働者の数も増えていくなかで、人種、出自、言語を問わない全社としての安全確保が一層求められる時代となりました。その為、相互理解のための自動翻訳やサイネージ活用や、文化の違いを超えて、お互いの考え方を開陳し認め合うことが、結果的には一丸となって安全に取り組める職場になるかと思います。

菅井主任監督官には、パトロール後に総評をいただき、各社の整理・整頓進捗状況を貴重なフィードバックを賜りました。

その後、深川労働安全コンサルタントより、「なぜ事故は繰り返し起こるのか？」と題して講演がありました。



講演の冒頭では、労災死亡者数は先人のお陰で着実に減少していることが示されました。平成期から辿っても、死亡者数のプロットは、平成元年(2,419名)→平成10年(1,844名)→平成20年(1,075名)→平成30年(909名)→令和7年(700名)と着実な改善が進んでいます。しかしながら、いまだ年間700名が命を落としているのも事実です。これを踏まえ、講演では近年発生した比較的大規模な労災事例について、映像を交えながら個々に紹介されました。これだけ設備や道具が進化したのに何故労災が発生するのか。また、比較的管理監督者の数も多い、大規模事業所でもなぜ発生するのか。真の原因としては「人の行動」や「考え方」があるとのことでした。どんなに優れた環境や設備のもとで作業をしても、自分は大丈夫と思わずに、一人の人間であることをしっかり認識すること(慣れ・過信・省略・あせる)が重要です。これを認めた上で、あらためて安全を確保すると思い直すことが大切で

あるとのことでした。

また、熱中症、高齢化、外国人労働者についても触れられました。

熱中症は職場での対策はもちろんのこと、個人や普段の生活での改善も重要です。やはり、加齢による絶対的な体力や、規則正しくない私生活は症状悪化のリスクを高めます。温暖化進行のせい、酷暑がつづきますが、会社組織と従業員さんの二人三脚での対策が肝要です。

高齢化への対策も、職場の安全には急務です。加齢がすすむと、体力、視力、筋力、反応速度など、肉体的な要素は低下せざるを得ません。労災とおなじく、自分は大丈夫という過信をすて、「現在の体力」を勇気をもって見つめること、これに対応した行動をすることが大事です。しかし、ベテランとなって得たものも多くあります。経験、判断力、責任感です。弱くなった要素を素直に受け止め、磨かれた要素を活かしていくことで結果的に労災は減らす事が可能です。

外国人労働者の方々については、言葉や文化背景は「違い」ます。これをもって、安全に対する理解をあきらめるのではなく、自動翻訳や相互交流を通じて、共に安全をつくりあげる「意識」が全社員で一致するように努めることが重要です。

資料では、様々に安全衛生向上について指針が示されましたが、やはり職場をつくるのは人間です。その意味では、これをやれば一気に安全衛生環境が改善されるという魔法の杖はなく、基本的な事項の積み重ねの重要性が強調されました。基本に立ち返りますが、

①「挨拶、整理・整頓、報告」ができる環境の構築、②指差呼称の励行、③朝礼等を通じたしっかりした意思疎通は大きな効果を発揮するとのことでした。

先人たちの努力もあり、労災死傷者数は減少しました。だからこそ、現在の自社の実力と人間として避けられない性質も認めた上で、着実な実施策を積み重ねることで、全ての従業員さんが安全かつ笑顔で帰宅できる金属団地をめざしていきましょう。なお、今回のパトロールの結果、三島精器(株)様が優良事業所として推薦されました。

監督官総評



岐阜労働基準監督署 第二方面主任監督官 菅井 直哉

岐阜県金属工業団地協同組合の皆様におかれましては、日頃より労働基準行政の推進に格別の御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、先日は安全大会に出席させていただきありがとうございました。

さて、岐阜労働基準監督署管内において、令和7年に発生した労働災害による休業4日以上死傷者数は、新型コロナウイルス感染症を除き827人（うち死亡1人）で前年より29人（3.4%）減少しております。

しかし、令和5年（774人）や令和4年（769人）よりも多く、減少傾向にはありません。

製造業においては、令和7年に発生した労働災害による休業4日以上死傷者数が226人（うち死亡1人）で前年より16人（7.6%）増加しています。令和4年（177人）から3年連続で増加している状況です。

製造業における事故の型別では、はさまれ・巻き込まれが最も多く、労働災害全体の24%を占めています。次いで転倒災害（21%）、墜落・転落（13%）となっています。

全業種平均では、転倒災害（26%）が最も多く、次いで墜落・転落（17%）、動作の反動・無理な動作（14%）、はさまれ・巻き込まれ（11%）となっています。

このように、製造業においては、はさまれ・巻き込まれ災害の割合が約4分の1で、全業種平均の倍以上となっており、特に重点的に対策を講ずるべきといえます。また、転倒災害も全体の2割以上を占めており、年々その割合が高くなっていることから、つまずきや滑り等による転倒災害を防止するための対策に積極的に取り組んでいただく必要があります。

はさまれ・巻き込まれ災害の事例をみると、プレス機械やコンベア等の危険箇所に覆い・囲いを設けていなかったり、安全装置を設置していなかった事案も一部認められます(あってはならないことです)が、本来機械を停止して行うべき調整や掃除等の作業を、運転したまま行ったことにより被災したものや、安全作業手順を守らずに作業を行ったことで被災したものが多く認められます。

作業への慣れや焦り、面倒くさい気持ちなどから、定められた手順を守らなかったり省略したりしてしまうと、取り返しのつかない災害につながってしまうことがあります。

各企業の安全担当者の皆様におかれては、日頃から危険予知活動やリスクアセスメント等の安全衛生活動を実施することで、みんなで危険を共有し安全意識を高めるとともに、職場巡視等で不安全行動がないかを確認し、安全作業手順を遵守するよう声掛け・指導を積極的に行っていただきますようお願いします。

次に、製造業で2番目に多い転倒災害の事例をみると、事業場内の段差や凹凸、通路に置かれた物につまずいたり、床にこぼれた油や水で滑ったりして被災したものが多く認められます。

転倒災害による怪我の種類は、統計上骨折が最も多く、平均休業日数は47日にも及びます。

転倒災害による被災者の年齢をみると、約7割が50代以上の労働者であることから、運動機能・身体能力が低下してくる高齢者において、特に対策が必要であると言えます。「高齢者の労働災害防止のための指針」(エイジフレンドリー指針)で示された措置を講じることで、転倒災害を起こさない職場環境、みんなが働きやすい作業環境を整えていきましょう。

安全大会で行われたパトロールにおいては、各社の労働災害防止の取組状況を確認させていただきました。

以下、好事例として皆様に参考としていただきたい事項をご紹介します。

各社に共通して認められた事項として、4S(整理・整頓・清潔・清掃)が非常に行き届いており、通路と作業場所・保管場所が適切に区分されている状況が確認できました。

これらが良好に維持されることは安全の第一歩であり、各社が安全意識を高く持って日々労働災害防止に取り組んでおられることが分かりました。

個別の事例について、ある会社では、玉掛け用のスリングについて、交換基準をイラスト等を用いて分かりやすく示したものを保管場所に掲示していました。

日々使用することにより劣化、摩耗していく各種用具等については、作業開始前に異常の有無を点検していると思いますが、その際の判断基準を分かりやすく示すことは、不適格な用具等を適切に取り除き、安全に作業を行うことにつながりますので、ぜひ参考にさせていただきたいと思います。

また、ある会社では、多くの労働者が行き来する場所にデジタルサイネージを設置し、自社で働く外国人技能実習生を紹介する内容や労働災害防止のトピックを発信していました。

直接的に労働災害を防ぐ措置ではありませんが、例えば前者は技能実習生とコミュニケーションを取りやすくなり意思疎通、業務上の指示等が円滑になることで、作業の安全が確保されたり、業務効率化につながることが期待されます。

さらに、ある会社では、工場内に簡易のクーリングスポットを設置し、近くに暑さ指数計、経口補水液や塩飴を備え付けるなど、熱中症対策に積極的に取り組まれていました。

熱中症による労働災害は年々増加しており、令和7年には全国の死傷者数が1,803人（うち死亡者19人）となりました。

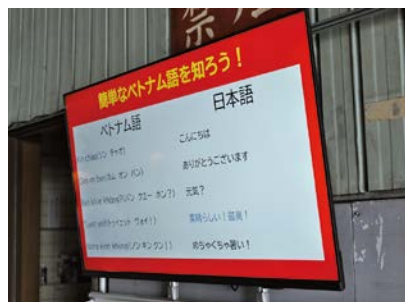
熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、迅速かつ適切に対処することで重篤化を防ぐため、WBGT値28度以上または気温31度以上の環境下で連続1時間または1日4時間を超えて作業する場合は、報告体制を整備すること、対応手順を作成すること、それらを関係者に周知することが法令で義務付けられています。

今年も猛暑が予想されますので、暑さ指数の把握及び適切な熱中症予防対策の実施をお願いいたします。

皆様の日頃の安全衛生活動が実りあるものとなるようお祈り申し上げます。



事例① スリング



事例② デジタルサイネージ



事例③ クーリングスポット

パワースリングの点検基準について			
ベルトスリングは、日常点検(1)および定期点検(2)を行って使用する。 注(1) 使用前に行う点検をいう。(2) 定期的に行う点検で、使用頻度によって異なるが、原則として1カ月ごとに行う。			
点検項目	点検の種類		点検方法 目視
	日常点検	定期点検	
損傷の状況 (摩耗、さす 及び縫糸の切断) (1) アイ			① 縫目が分からないほど摩耗で毛羽立ちし、縫糸の損傷が認められるもの。
			② 目立った切り傷、すり傷、引っ掛け傷などが認められるもの。 (特にアイ、アイ付根の損傷)
			③ 縫糸が切断して、アイの形状が変形しないもの。
(2) 縫製部			④ 目立った切り傷、すり傷、引っ掛け傷などが認められるもの。
			⑤ 縫糸が切断して、ベルトのはく(剥)離が少しでも認められるもの。
(3) 本体			⑥ ベルトの全端にわたって摩耗で縫目が分からないほどに毛羽立ちし、縫糸の損傷が認められるもの。
			⑦ 幅方向に幅の1/10、または厚さ方向に厚さの1/5に相当する切り傷、すり傷、引っ掛け傷などが認められるもの。
			⑧ 縫糸が切断して、ベルトの幅以上の長さになつてはく離しているもの。
(4) 使用限界標示 (注) の露出又は消失			⑨ 使用限界標示のあるものは、摩耗、傷によってアイ縫製部または本体のいずれかの部分において、標示が著しく露出または消失したもの。 (注) 使用限界標示は、(a) 幅方向に黄色ライン (b) 厚さ方向に白芯地層で示します。
その他の外観異常			目視
使用期間			管理台帳、表示などの確認
			特や異色等による変色、変色、腐蝕、変質などが認められるもの。
			使用開始後3年を超えるもの。但し、損傷などにより異常の状態にあるものは、この期間に達しなくても廃棄してください。



バンテリンドームナゴヤ観戦ツアー開催

7月4日(土)バンテリンドームナゴヤ野球観戦ツアーを実施し、組合員企業の従業員やご家族も含め123名もの多くの皆様にご参加いただきました。

11時30分、2台のバスは定刻どおり出発し、12時50分頃にバンテリンドームへ到着。試合開始までの時間は、球場内の散策やグッズショップでの買い物など、それぞれ思い思いに過ごし、観戦の期待を高めました。ツアーの詳細については青年部ページをご覧ください。

このツアーは、福利厚生の一環として実施しており、従業員の皆さんやご家族にもご参加いただけます。観覧席は5階パノラマ席のため、それぞれ自由なスタイルで観戦を楽しめることも魅力の一つです。近年は、試合そのものに加え、球場全体の雰囲気や演出も含めて楽しむ「体験型のエンターテインメント」として、野球観戦の楽しみ方も広がっているように感じました。今回参加できなかった方も、ぜひ次回はご家族や同僚の皆さんと一緒にご参加ください。



社長就任挨拶



岐阜愛知電機株式会社

関谷 浩

平素より当社の事業運営に際し、金属工業団地組合の皆さまには格別のご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

当社は設立65年以上にわたり、変圧器製造と電気設備工事を通じて地域の電力インフラを支えてまいりました。電力設備の高度化や安全性の強化、原材料の変動、人材確保の難しさなど、インフラ関連産業を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。こうした状況下において、金属工業団地内の皆さまとの連携はますます重要であり、互いの技術力と経験を生かしながら、安定した供給体制と強固な産業基盤を築いていくことが不可欠であると考えております。

私自身、現場の声を大切にし、安全・品質・確実な施工を最優先に、より信頼される企業運営に努めてまいります。微力ではございますが、社業発展に尽力してまいりますので、今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



バンテリンドーム野球観戦ツアーに参加

7月4日(土)、今年も毎年恒例のバンテリンドーム野球観戦ツアーが開催されました。青年部としては、行き帰りのバスでの各社ごとの人数確認をお手伝いしました。組合職員の皆さんの如才ないご案内のおかげでほとんど出る幕がありませんでしたが、無事に皆様をドームまでご案内でき、まずー安心です。

今回は、ツアーに参加した感想、臨場感を余すことなくお伝えできればと思います。

観戦ツアーに参加することは初めてですが、私自身は20年来のドラゴンズファン、身体には青い血が流れています。意気揚々と、花田旭外野手(当日は2軍の試合でホームラン、イチオシです)のユニフォームに身を包み、バスに乗り込みましたが、やはりここは岐阜の金属団地、思い思いのドラゴンズグッズを纏った参加者の皆様とご対面することができました。改めて地元のドラゴンズ愛を全身に感じましたね。これで強くなったらどうなっちゃうんでしょう。

各務原からあっという間にバンテリンドーム名古屋に到着し、参加者の皆様と共に、席に向かいます。席に行く途中に飲み物、ご飯を買っていき、席に着くなり腹ごしらえ。これぞ理想の休日って感じです。

今年が目玉の一つは、新たに設置されたテラス席ではないでしょうか。去年から一気に球場が狭くなりました。しかし「これでホームランが沢山見れる！」となるはずが、周囲からは「めっちゃ打たれそうだな…」との声も、目下借金16、中継ぎ陣崩壊の現状からするとネガティブに考えてしまうのも無理はないかもしれません。(笑)

またもう一つ、このカードから新しくお披露目されたのが「ブラックドアラ」。

熱狂的なドラゴンズファンで知られ、それが高じて今年はドラゴンズ90周年のアンバサダーを務める『サカナクション』のボーカル山口一郎さんが発案した「ドアラのライバル」、...、ということだったのですが、その演出や設定に関しては山口さんに一言も相談せず、登場させる暴挙に中日球団が出たため、早くも賛否両輪が巻き起こっています。『報告・連絡・相談』の重要性を身にしみて感じる一幕です。反面教師にすべき好例でした。ちなみにこの日はドアラとけん玉対決をしていました。90周年でけん玉ってことは、100周年の時はお手玉ですかね。

そんなこんなで試合が始まります。この日の対戦相手は球界の盟主、読売巨人軍。

参加者の方の中にも隠れ巨人ファンが数人いましたし、さすがの人気を誇ります。

中日の先発は涌井秀章投手、言わずと知れた押切もえの旦那さんです。先制点こそ許しますが、要所を締める老獪なピッチングで試合を作っていきます。

しかし投手陣がいい仕事をする、それ以上に野手陣が点を取れないのは何故なのでしょう。この試合も毎回の様にチャンスを作りながら、巨人先発、ルーキーの竹丸投手に良いようにやられてしまいます。ある意味で「ドラゴンズらしい」攻撃を繰り返しながら、何とか同点には追い付き、試合は中盤を迎えます。

試合は全然動かない中ですが、観戦ツアーでは5回に動きを見せます。

なんと、球場のオーロラビジョンに我々観戦ツアーの陣取った席が大写しになり、思いがけない出来事に一同大盛り上がりとなりました！

中々野球観戦に行っても、映る機会なんてありません。こんな経験もこの観戦ツアーだからこそかもしれないですね。 ※私は突然のことすぎて固まってしまいました。

そして迎えた運命の8回裏。1アウトから細川成也外野手が打った打球はライト方向へ、サッと払ったようなバッティングでしたが、これが伸びて伸びてフェンス直撃。「テラス席があってよかった！」そんなスリーベースヒットとなりました。続くは石川昂弥内野手。地元東邦高校からドラフト1位で入団した地元の逸材ということもあり、人気はスーパースタークラス、今日一番の歓声と応援歌を背に受け、打席に向かいました。彼もレギュラー定着に至らぬまま7年目ですが、今年は試合時の表情が以前とはガラリと変わり、覚醒の 때가近づいているようです。

そしてフルカウントまで粘った6球目、23試合連続無失点を続けていた巨人の中継ぎ、田中投手の甘いスライダーを逃さず、バット一閃。打球はセンターの頭上を越え、見事勝ち越しのタイムリーツーベースとなりました！！

この瞬間、バンテリンドームは全員総立ち、割れんばかりの大歓声に包まれました。地元の若手スターがここぞという場面で決めてくれる。これ以上ない最高の瞬間でした。最後は守護神の松山晋也投手がリードを守り切り、結果は2対1でドラゴンズが見事に勝利を収めました。

やっぱり勝つって良いですね。

帰りのバスも、一人も欠けることなく無事に金属団地へ帰還しましたが、バスの中は劇的勝利の余韻と熱気そのままに、何ともいえない高揚感を帯びていました。

私はその中で、「感想が書きやすい試合で良かった～」とこの寄稿のことを考えていましたが。

参加された皆様、本当にお疲れ様でした。8回の逆転の時の雰囲気、熱狂は現地でしか味わえないものだったと思います。参加されたことない方は、来年も絶対勝ちますので、是非一度参加してみてください。





組合だより

遠征ゴルフ 1日目

第60期(第704,705回)の遠征ゴルフが去る7月4日(土)から2日間、高知県にて開催されました。岐阜を6時に出発し県営名古屋空港からFDAで7:45発のフライトです。高知龍馬空港までは一時間もかかりません。ジャンボタクシーに乗換え、20分ほどかけて「土佐カントリークラブ」へ。白く洋館風の建物が南国感を掻き立てます。雨はパラパラしていましたがそれほどひどくなる気はせず、皆でレストランへ珈琲を飲みに行く…訳はありません(笑)。ビールのお供に「百一珍」を食べましたがチーズのように濃厚な味わいがぎゅっと詰まっていて非常に美味しい珍味です!良いもの食べました。

このゴルフ場は36ホールありますが、今回は豪快な打下ろしや戦略的な打ち上げに谷越え等プレーヤーのチャレンジ精神を掻き立てる「足摺コース」を回ります。スタート直前から本格的に雨が降りだしました。取り敢えず記念写真を撮ろうと思ったのですが雨が強くキャディーもいないので困り、ティーランド脇の避難小屋でパチリ! 1組目の一番くじを引いた鳥山理事長のティーショットでゴルフ旅行が開幕しました。

しかし、大雨の中ショットもパットもボロボロの大崩れでとてもゴルフになりません。昼食は前組と20分近く離されて茶店にたどり着きます。着いた頃には前組はご飯を食べてもう出て来ます(汗)スコアは同じように皆悪いのだけど…。雨でカッパ着ていてもびしょ濡れで寒く、温かいカレーラーメン食べて仕切り直し。と思いきや後半戦も…記憶喪失でよく覚えていません…聞かないで><

ゴルフが終わり、風呂で身体を温めジャンボタクシーに乗ってホテルへ向かいます。宴会までの時間が無い中、運転手さんの好意で宴会場まで乗せて貰えて助かりました。皮肉にもこの頃には雨は上がり傘は要らなくなっていました…

18時から表彰式及び懇親会を「土佐料理司高知本店」で執り行います。店は和風の上品な空間です。まずは表彰式。土砂降りまで皆スコアを崩す中、優勝は鳥山理事長! 優勝スピーチと開式挨拶を兼ねるところは流石です。持ってる男は違うなあ。二位は林さん、三位は小栗さん。コース料理では、「かつおのたたき」を初め「土佐ポーク角煮」や「鯨カツ」等の土佐の味を満喫しました。

懇親会終了後は何グループかに別れて自由行動です。社長方は土佐の繁華街へと繰り出し、私は青年部の仲間と街を散策したり、居酒屋で反省会をしたりして楽しい時間を過ごしました。



遠征ゴルフ 2日目

美味しいバイキングを食べた後、ホテルを出発した道中で雨が止み「このままプレーできそうだ」と参加者一同うきうきした気持ちでゴルフ場へ向かいました。ここ黒潮カントリークラブは、名門ゴルフ場で男子プロゴルフツアーの終盤戦を飾るビッグトーナメント「カシオワールドオープン」の開催地として全国的に知られています。今日回る太平洋コース& 暖流コースはフラットで開放感はあるが、距離が長くトリッキーなハザードやグリーンへのセッティングにより難易度は高いそうです。雨がぽつぽつと降ってきましたが石川遼選手も使った打ちっぱなしで身体を温めた後、スタートホールに向かいました。今日はティーグラウンドに看板がありキャディーさんもいるので皆で集合写真撮影。雨足が強まる中、傘を閉じさせて無理やり撮りましたが(笑)

しかし、1ホール目から「ゴロ、ゴロ…」と雷まで鳴り始めた為にプレーは即中断となります。突然の中断宣言にどうしていいかわからず戸惑いましたが、社長方から「宴会だー！」という明るい声が上がり、その場の雰囲気も一気に和みました。こういう時こそ楽しみに切り替える、これが社長方の瞬時の判断力なのだと感じました。

そうして2時間以上の中断後にプレー再開のアナウンスが流れ、急遽ハーフコンペに変更し競技を再開しました。高知まで遠征してハーフラウンドのみとなったのは少し残念でしたが、最後まで全員で楽しくプレーすることが出来ました。優勝は林さん！取り切り戦の権利獲得おめでとうございます。二位は山村さん、三位は洞田さん。ゴルフ終了後は少し早めに空港へ向かい、それぞれ高知のお土産を購入。出発までの時間も最後の宴会で盛り上がり、名残惜しさを感じながら帰路につきました。

今回、初めて幹事を務めました。旅行が無事に終わられたのは参加して下さった皆さんの御協力のおかげです。本当にありがとうございました。2日間とも雨に見舞われる遠征となりましたが、私は十分楽しむことができました。皆さんも、もちろん同じ気持ちだった……ということにしておきます。ここまで大変だと、次回幹事のお話をいただいた時は少し考えてしまうかもしれません。

もっとも、それは取り切り戦で優勝できたらの話ですが……(笑)

皆さん本当に2日間お疲れさまでした！！





欲しいものと所有するもの

だんだん歳を重ねてくると、欲しいものがなくなってくる。いや、正確にいうと欲しいものはいっぱいあるのだが、経験上「今これを手に入れても使いこなせるだろうか」、「そのうち部屋の片隅に追いやられてゴミになるのではないか」とか、挙句の果てに「自分が死んだら子供たちが処分に困るだろうな、迷惑かけたくないな」と所有をあきらめ、終活モードに入ってしまう。

私は貧乏性というかローン恐怖症というか、いまだかつて分割払いというものをしたことがない。欲しいものはお金を貯めてから買う。するとお金が貯まる頃には欲しくなくなったりする。つまりそれは必需品ではなく、無くてもよかったものだったと思っている。

ところが私の身内は欲しいものだらけのようで、
「また買っちゃった」 私「お金あるんか？」
「48回分割無金利で。だって欲しい時が買い時だし、早く手に入れて使った方がいいじゃん？」
う〜〜ん、考え方の相違というか、昔から欲しいとなったら欲しくて欲しくて、手に入れるまで終わらない。手に入ると欲しい欲しい病は収まり、しばらくは手に入れたもので楽しんでいる。そして、いい加減楽しんだ頃、その病は再発する。(まだ48回払ってないのに!?) まあ、欲しくてもなかなか買わない私よりもずっとずっと経済には貢献しているのかもしれない。

かたや別の身内は、いい大人なのにポケふたというポケモンのマンホールふた集めにハマっている。といってもただのフタ状のもので、その下に水道や下水管があるわけではないし、集めるといってもその写真を撮るだけなのだ。あまり詳しくは知らないが、自治体に寄贈されるもので、ポケふたのある場所に行き、アプリ・GPSを起動して写真に撮ると自分のIDにそのフタと同じ柄のメダルが登録されるシステムのように、形のあるものを所有するわけではない。(違っていたらごめんなさい。)

ただ、私が面白いと感じたのは、メダルを貰うためにはその場所に行かなければならないということだ。IDに登録されるだけで実物が手に入るわけでもないのに、一度手に入ると全て所有したいという欲がわいてくるようで、ポケふたのある場所を訪ねては集めている。これが全国津々浦々にあるから、とてもコンプリートは無理かもしれない。それでも出かけるキッカケにはなるし、そこへ行くために調べ、旅費を使い、食事し、お金を使っている。しかもそのふたに載っているポケモンは名前や属性など、なにかしらその地域や特産や歴史に関係があるものが多いのでその場所に愛着もわく。(香川県はうどん県で名前が似ている? から ヤドン。三重県はみじゅうと読めるし、ラッコがいるからラッコポケモンのミジュマル。三重県応援ポケモンになっていて県内すべての自治体にふたがある。グッズや電車のラッピングにまで登場している) 岐阜県には5枚あり、アクアトトにもある。訪れたら何のポケモンか、ぜひ探してみてほしい。自治体単位での応募で現在は募集休止中だが、再開したら金属団地も、はがねタイプのポケふたを誘致したら面白い。ここに来ないと手に入れないので、全国のポケふた集めユーザーが来てくれ、金属団地の紹介にもなるかもしれない。

こんなデータだけで実際に手に入らないものを嬉々として集める者と、欲しいものだらけで年がら年中ローンに追われている者、どちらが幸せだろうか? うん、やっぱりお金が貯まってから、その時にまだ欲しいもの、これこそが本当に欲しいもの。これを一括でポーンと買うのが一番幸せだな〜

あなたはどのタイプ?

ローン組んだり貯めたりしなくても、欲しい時にキャッシュでポーンと買えるってか?

織部 祐有



再会

株式会社サクラダ工業

横山 綜大

休みと聞くと、私は今でも少しテンションが上がる。幼少期から大学まで、ずっとハンドボールに明け暮れてきた。練習や試合に追われる日々と、ゆっくり休める日はあまりなかった。だから社会人になって数年経った今でも、「休日」という響きだけで、どこか心が弾む。普段とは違う場所へ行けるだけで、少し特別な一日が始まるような気がする。

高校入学を機に茨城県へ移ってから、地元である岐阜の友達と関わる機会は少なくなっていた。そんなある日、取引のある銀行の営業として、小中学校の同級生だったK君が現れた。十数年ぶりの再会だった。

久しぶりに会ったK君は、どうやら釣りが趣味らしい。再会して間もなく、「イカ釣り行きましよう！」と誘ってくれた。まさか仕事のつながりから、昔の友人と休日を過ごすことになるとは思ってもしなかった。こうして私たちは、福井県の海へ向かうことになった。

今回参加したのは、元バレー日本代表だという大きな船長が営む船釣り。出発までの道中では、昔の思い出話や同級生たちの近況で盛り上がった。気づけば、少しだけ少年時代に戻ったような気持ちになっていた。

いざイカ釣りが始まると、なかなか釣れない。私も釣れない。K君も釣れない。3時間、4時間と時間だけが過ぎていく。海の上で竿先を見つめながら、期待と不安が何度も行ったり来たりした。

そんな中、ようやく本日初めての好感触があった。「ヒット！」しかし、気を抜いた瞬間に逃してしまった。あの感触が手に残っていた分、悔しさも大きかった。

福井まで来て、何も釣れずに帰るわけにはいかない。そう思い、気持ちを入れ直して再び仕掛けを投げ込んだ。

それから20分後。ようやく、本日初めてのヤリイカが釣れた。その後、続けてもう一杯、アカイカも釣ることができた。数は多くなかったが、自分の手で釣り上げた瞬間はやはり嬉しいものだった。一方のK君は、最後まで坊主だった。

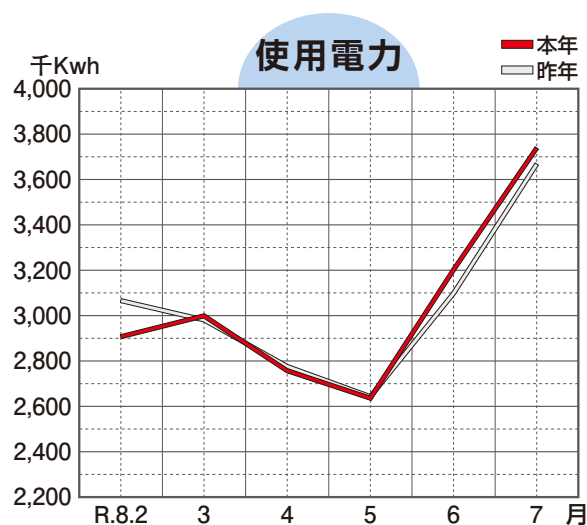
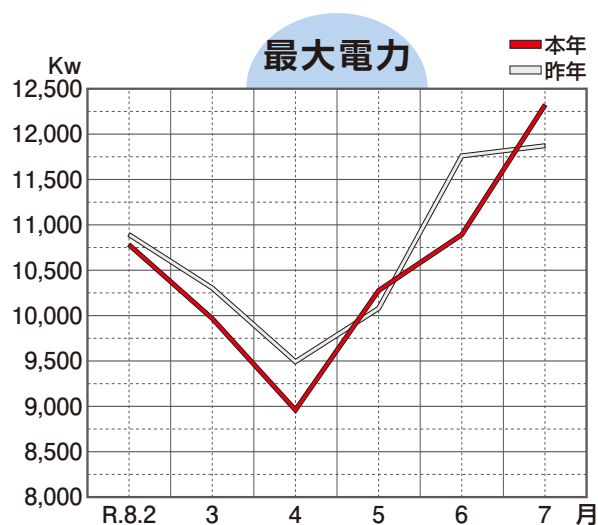
こうして、この日のイカ釣りは終了。正直、釣果としては全然だった。それでもK君いわく、釣れる時は100杯近く釣れることもあるらしい。自然相手の遊びだからこそ、思い通りにいかないところも面白いのかもしれない。

久しぶりの再会、懐かしい話、そして福井の海。たくさん釣れたわけではなかったが、心に残る休日になった。K君は金属団地の担当から異動となってしまったが、せっかく再会できた縁を大切に、今後とも友人として繋がっていきたい。もし、次回のイカ釣りでいっぱい釣れた時には、団地の皆様にもお配りしに行きますね！





令和8年7月分電力使用状況



太陽光発電設備の設置に関するアンケート結果

SDGs (持続可能な開発目標) の観点や親会社の意向等を背景に、団地内の企業様から太陽光発電設備設置に関するお問い合わせを多数いただいております。これを受け、団地内での設置検討を進めるにあたり、現時点での各社の設置意向を把握するためアンケートを実施いたしました。

〈今後数年以内に太陽光発電設備を設置したいか〉

- ① 設置したい…… 3社
- ② 設置しない……28社
- ③ 検討中……………15社

以上の結果となりました。

なお、団地内で設置する場合の条件として

- ① 完全自家消費型であること
- ② 「一般電気工作物」に該当すること (出力10kW以上50kW未満の低圧設備)

という制約があります。そのため、環境貢献のアピールにはつながる一方、売電不可の非FITとなることから、共同受電の安価な電気料金単価では、電気代削減による投資回収が難しいという課題があります。

太陽光導入による投資効果をどこに求めるか、十分に検討することが重要です。

行事予定

2026 **8** August

16 日	
17 月	月例会 (12:00~) 役員会 (13:30~)
18 火	
19 水	
20 木	
21 金	役員退任慰労会及び新役員歓迎会
22 土	団地G 『組合休日』
23 日	
24 月	
25 火	編集委員会
26 水	
27 木	
28 金	
29 土	『組合休日』
30 日	研修センター定期清掃
31 月	金融委員会 正副常任会

2026 **9** September

1 火	
2 水	
3 木	組合員親睦旅行in沖縄 (～5日)
4 金	
5 土	『組合休日』
6 日	
7 月	
8 火	
9 水	
10 木	
11 金	
12 土	『組合休日』
13 日	
14 月	月例会 (12:00~) 役員会 (13:30~)
15 火	

9月の行事予定

9月26日 団地G

7月度金属団地ゴルフ会

7月25日 各務原カントリー倶楽部

優勝 森田浩明 (森田木型) 2位 柳原弘幸 (鶏飼) 3位 永田 保 (マルエイ)



G-MECCA

Gifu Metal Engineering Community Cooperative Association

<https://www.g-mecca.jp>

